



慶應義塾大学ビジネス・スクール

日本ヒューレット・パッカード

5

— シードセンター —

日本ヒューレット・パッカードは、ダイバーシティ・マネジメントの観点から障がい者雇用を考えている。同社のダイバーシティ戦略は「HP Way」という企業理念に基づいている。HP Wayとは「人間は男女を問わず、良い仕事、創造的な仕事をやりたいと願っていて、それにふさわしい環境に置かれれば、誰でもそうするものだ」という信念に基づいた方針および行動規範であり、共同創業者のひとりであるビル・ヒューレットの言葉に集約される「尊敬と信頼」に基づく企業文化を表した理念である。

10

その根底には、「ダイバーシティ・アンド・インクルージョンが創造性・革新性・発想力の原動力となる」という考え方がある。グローバルな環境で個々の違いを認め、活かしていくことが会社の成長に繋がるという思想であり、ダイバーシティを企業戦略の一環として捉えている。また、ダイバーシティとインクルージョンに対して独自の意味づけを行っており、それぞれの言葉を以下のように解釈している。

15

ダイバーシティ・アンド・インクルージョンは、Hewlett Packard Enterprise (HPE) の基本的な価値観です。企業文化に織り込まれたものであり、成功をもたらす重要な原動力であると信じています。世界中の職場で、文化、国籍、民族、言語、信仰、考え方、性別、年齢といった多様性を認め、活かすことで、社員一人ひとりがリーダーシップを発揮し、HPE を前進させると考えています。

20

また、HPE はイノベーションによって、世の中に便利を、社会に暮らしやすさを、お客様に成功をもたらします。このイノベーションも、多様性と包括性を尊重することで、生まれるものです。世界のどこでビジネスをする時にも、多様性と包括性を必要不可欠なものとして意識して歩んでいきます。

25

本ケースは、2019年から2020年にかけて実施した日本ヒューレット・パッカード株式会社へのインタビュー、および、同社から提供された会社案内、ホームページをもとに作成された。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクールまで（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉4丁目1番1号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。ケースの購入は <http://www.bookpark.ne.jp/kbs/> から。

30

Copyright © 守屋 剛 (2021年2月作成)